

平成30年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル

【教育目的】

保健・医療・福祉業務に従事する看護の第一線監督者、又は中間管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術の習得と、施設の理念を具現化するための組織化並びにその運営の責任が果たせる高いマネジメント能力を有する人材を育成する。

【教育目標】

- 1 第一線監督者又は中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
- 2 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。

【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論 (必修)	20	ヒューマンサービスの理念 看護管理者のためのファシリテーション 看護管理における倫理 認定看護師との連携・協働	1. 看護管理者に求められる「対人関係能力」をさらに高めるために、自律と主体性を育むファシリテーションの概念やスキルを学び、効果的な病棟運営や効果的な人材育成につなげることができる。 2. 看護管理における倫理的課題とその対応について学ぶ。
専門	看護組織管理論 (必修)	60	組織マネジメントの基本理論 組織の意思決定と変革 組織文化 組織分析(組織診断) 看護ケア提供方式の構築 看護組織のナレッジマネジメント コンフリクトマネジメント	組織運営に関する諸理論に基づき、担当部署の看護管理過程を評価し、質向上のための方策を見いだす。
	人的資源活用論 (必修)	60	人材を育てる看護マネジメント 看護人事・労務管理 人材を活かす看護マネジメント	1. 組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等、人的資源管理に必要な知識・技術・態度について理解できる。 2. 看護職者のキャリア開発について概念・理論、具体的方法について理解できる。
	ヘルスケアサービス管理論 (必修)	60	保健・医療・福祉サービス提供組織の仕組みと連携 施設環境のマネジメント 安全管理 クオリティマネジメント ヘルスケアサービスへの情報活用とマネジメント	1. 保健・医療・福祉サービスを提供する上で必要な基本的な考え方と具体的な方法について理解できる。 2. 他職種・他部門・他施設・地域等との協働・連携の方法論について理解できる。
	医療経済論 (必修)	40	我が国における社会保障と医療経済 看護サービスにおける経済性	医療経済の構造・現状について学び、変革が進む医療システムについて理解できる。
	統合演習 (必修)	20	担当部署の改善計画	教科目で学習した内容を統合、活用し、看護管理の実践の向上をめざす。
	看護管理実習 (選択)	16	実習計画の立案 実習	自部署の管理課題および管理課題の解決に向けた具体的取り組みの方向性を明確にする。
	看護研究 (選択)	16	文献検索 研究論文のクリティーク	研究成果を看護管理実践に活用するために必要な文献検索や批判的文献検討の方法を学ぶ。
設定時間 合計 292 (必修：260 / 選択：32)				

※ H31 年度から日本看護協会認定看護管理者カリキュラム基準の改正により、新たな教育がスタートします。